

修士論文（要旨）

2025年1月

学校組織風土と教職アイデンティティが
小学校教員の職業性ウェルビーイングに与える影響

指導 松田チャップマン与理子 教授

国際学術研究科

国際学術専攻

心理学実践研究学位プログラム ポジティブ心理分野

223J2064

茅野 呼春

Master's Thesis(Abstract)

January 2025

Influence of School Organizational Climate and Teaching Identity on Primary
School Teachers' Professional Well-Being

Koharu Chino

223J2064

Master of Arts Program in Positive Psychology

Master's Program in International Studies

International Graduate School of Advanced Studies

J. F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Yoriko Matsuda-Chapman

目次

第1章：研究背景と目的	1
1.1 教員のメンタルヘルス	1
1.2 教師集団の特徴	1
1.3 学校組織風土とは	2
1.4 学校組織の類型	3
1.5 職業アイデンティティとは	4
1.6 教職アイデンティティ安定化の必要性	5
1.7 職業性ウェルビーイングとは	5
1.8 教員における職業性ウェルビーイングの規定要因	6
1.9 本研究の目的と意義	6
第2章：研究方法	9
2.1 調査対象者	9
2.2 研究の手続き	9
2.3 使用尺度	9
2.4 分析方法	11
2.5 倫理的配慮	11
第3章：結果	12
3.1 回答者の基本属性	12
3.2 各変数間の記述統計	12
3.3 各変数間の相関関係	13
3.4 t検定を用いた職位の再検討	15
3.5 t検定を用いた担任クラスの有無の差異検討	16
3.6 分散分析を用いた勤続年数による差異検討	16
3.7 構造方程式モデリングを用いた仮説モデルの検討	17
3.8 各概念の下位因子によるパス解析	18
第4章：考察	20
4.1 本研究で見られた職位、勤続年数における差異	20
4.2 構造方程式モデリングを用いた仮説モデルの検討	21
4.3 各概念の下位因子によるパス解析における検証	21
4.4 本研究の限界と今後の展望	22
参考文献	

第1章：研究背景と目的

教職員のメンタルヘルス対策は喫緊の課題であり(文部科学省, 2024), 精神疾患による休職者の増加など, 教員のメンタルヘルスをめぐってさまざまな問題が指摘されている。しかし、組織や教員文化といった観点から教職アイデンティティの形成および職業性ウェルビーイングへの効果に検討した研究はない。

本研究では、小学校教員を対象とし、教職アイデンティティの先行要因として学校の組織風土に着目し、学校組織風土、教職アイデンティティ、職業性ウェルビーイングのそれぞれの関連について明らかにすることを目的とする。以下、本研究の仮説を示す。

仮説1

協働的風土は教職アイデンティティに正の影響を与える。

仮説2

同調的風土は教職アイデンティティに負の影響を与える。

仮説3

心理的安全風土は教職アイデンティティに正の影響を与える。

仮説4

協働的風土は職業性ウェルビーイングに正の影響を与える。

仮説5

同調的風土は職業性ウェルビーイングに負の影響を与える。

仮説6

心理的安全風土は職業性ウェルビーイングに正の影響を与える。

仮説7

教職アイデンティティは職業性ウェルビーイングに正の影響を与える。

第2章：研究方法

研究倫理委員会の承諾後、研究担当者の個人的ネットワークおよびWeb会社(アイブリッジ株式会社)に調査を委託する形で公立小学校に勤める正規職員(年齢：23歳～65歳)133名を対象に学校組織風土尺度、教職アイデンティティ尺度、職業性ウェルビーイング尺度、基本属性に関する質問を行った。分析には、統計解析ソフトIBM SPSS 29.0JおよびAmos 26Jを用いた。

第3章：結果

仮説モデルを検討するために、最尤法による構造方程式モデリングを行った結果、同調的風土は教職アイデンティティに正のパスを示し($\beta=.24, p=.024$)、心理的安全風土は教職アイデンティティに正のパスを示した($\beta=.24, p=.007$)。また、同調的風土は職業性ウェルビーイングに弱い負のパスを示し($\beta=-.17, p<.001$)、教職アイデンティティは職業性ウェルビーイングに強い

正のパスを示した($\beta=.91, p<.001$)。一方で、協調的風土は教職アイデンティティに有意なパスを示さなかった($\beta=.12, p=.54, n.s$)。

第4章：考察

本研究の目的は、学校組織風土と教職アイデンティティを職業性ウェルビーイングの規定要因とし、その影響について検討することであった。その結果、心理的安全風土が教職アイデンティティに正の効果、同調的風土が職業性ウェルビーイングに負の効果、教職アイデンティティが職業性ウェルビーイングに正の効果を示し、仮説3、仮説5、仮説7が支持された。一方で、協調的風土から教職アイデンティティ、職業性ウェルビーイング、心理的安全風土から職業性ウェルビーイングには有意なパスが見られず、仮説1、仮説4、仮説6は支持されなかった。また、仮説に加えて、職位、職務、勤続年数による変数間の比較検討、各概念の下位因子によるパス解析も行ったところ、勤続年数において有意な差異が見られた。

本研究の結果により、職場での同僚との関係性や組織としての風通しのよさである「心理的安全風土」が、教職アイデンティティの規定要因となり、職業性ウェルビーイングにも影響を与えるという一つのモデルの形が示唆された。しかし、一時点による横断的な調査に基づいているため、因果関係の解明には縦断的な研究が必要である。

今後研究が拡大し、実践的な施策を提案することで、教員の職業性ウェルビーイングの向上と学校組織の安定性実現に向けた支援が期待される。

引用文献:

- Brown, T.A. (2006). Confirmatory factor analysis for applied research. New York: Guilford Press.
- Edmondson, A.C. (2018). The Fearless Organization: Creating Psychological Safety in the Workplace for Learning, Innovation, and Growth Wiley.
- 淵上 克義(2003). 学校組織の心理学 日本文化科学社
- 淵上 克義・小早川裕子・下津雅美・棚上奈緒・西山久子(2004). 学校組織における意思決定の構造と機能に関する実証的研究(I)—職場風土, コミュニケーション, 管理職の影響力—岡山大学教育学部研究集録, 126, 43-51.
- 淵上 克義(2005). 学校組織の心理学 日本文化科学社
- Halpin, A.W., & Croft, D.B.(1963). The organizational climate of schools. Midwest Administration Center, The University of Chicago.
- 林 孝・福本 昌之・曾余田 浩史・矢藤 誠慈朗(1995) 教師の力量形成に及ぼす学校の組織風土・組織文化の影響に関する実証的研究(III)—組織レベルの分析を中心に— 広島大学学校教育学部紀要, 1(17), 151-162.
- 池田 智・松枝 美智子(2020) 特定機能病院に勤務する新卒看護師のアイデンティティ, 職業性ストレス, 組織風土と精神健康度の関連 産業医科大学雑誌, 42(3), 281-290.
- 井上 亮太郎・金本 麻里・保井 俊之・前野 隆司(2022). 職業生活における主観的幸福感因子尺度／主観的不幸福感因子尺度の開発 エモーション・スタディーズ, 8(1), 91-104.
- 石井 留美(1997). 主観的幸福感研究の動向 コミュニティ心理学研究, 1, 94-107.
- 川瀬 隆千(2012). 教師のバーンアウトの要因と予防 宮崎公立大学人文学部紀要, 20(1), 223-232. 産業ストレス研究, 12, 145-155.
- 小池 康弘・名越 恵美・實 金栄(2021). 医療専門職の職業的アイデンティティ尺度の測定項目の選定および内容的・表面的妥当性の検討 岡山県立大学保健福祉学部紀要, 28(1), 137-145.
- 児玉 真樹子・深田 博己(2005). 企業修行者の職業的アイデンティティに関する文献研究 広島大学研究科紀要第三部, 54, 265-273.
- 国立教育政策研究所(2014). OECD国際教育指導環境調査(TALIS2013)のポイント8頁
<https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/data/Others/1349189.htm>
- 久富 善之編(2008). 教師の専門性とアイデンティティ 勁草書房
- 久富 善之(編) 山崎鎮親(1994). 日本の教員文化 多賀出版
- 前田 智香子(2009). 専門家の職業的アイデンティティ形成の研究に必要な視点 文学部心理学論集, 5-14.
- 前原 武子(1994). 教師の効力感と教師モラル, 教師ストレス 琉球大学教育学部紀要, 44(Ⅱ), 333-342.

- 松井 賢二・柴田 雅子(2008). 教師の進路決定プロセスと職業的アイデンティティとの関連
新潟大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要教育実践総合研究, 7, 141-159.
- 松本 良夫・河上 婦志子(1994). 逆風の中の教師たち 東洋館出版社
- 三沢 良・鎌田 雅史(2022). 職員室の心理的安全性—教師の協働を阻む対人リスクに関する検討—. 岡山大学大学院教育学研究科研究集録, 18, 17-26.
- 三沢良・森安史彦・樋口宏治(2020). 教師のチームワークと学校組織風土の関連性—「チームとしての学校」を実現するための前提の吟味— 岡山大学教育開発センター紀要 10, 63-77.
- 宮村 慶一郎・内藤 美加(2021). 高等学校における学校組織風土の相違と教員の特別支援教育に対する意識との関係 上越教育大学研究紀要, 41(1), 93-102.
- 宮下 一博・田辺 敏明・小柳 晴生・岡本 裕子・上地 雄一郎・磯部 修一・沢田 章子・森川 早苗(1984). 外国における同一性研究の展望—職業的同一性に関する研究 アイデンティティ研究の展望 I. ナカニシヤ出版 pp.154-166.
- 溝口 禎之・辻河 昌登(2009). 学校教師の職業アイデンティティの危機としての「バーンアウト」と再生に関する研究 学校教育学研究, 21, 41-47.
- 文部科学省(2013). 教職員のメンタルヘルス対策について(最終まとめ)
<https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2013/03/29/1332655_03.pdf>
- 文部科学省(2024). 令和4年度公立学校教職員の人事行政状況調査に係る留意事項について
<https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/jinji/1411820_00007.htm>
- 本村 良美・八代 利香(2010). 看護師のバーンアウトに関連する要因 日本職業・災害医学会会誌, 58(3), 120-127.
- 中村 瑛仁(2015). 教員集団内における教職アイデンティティの確保戦略—アイデンティティ・ワークの視点から— 教育心理学研究, 96, 263-282.
- 西田 順一(2018). 小学校教員の身体活動がメンタルヘルスに及ぼす影響性：身体活動質問表(IPAQ) 日本語版を用いた検討 体育学研究, 63 837-851.
- 岡本 裕子(1997). 中年からのアイデンティティ生涯発達論の展開—中年期の危機と心の深化— ミネルヴァ書房
- 佐古 秀一(2006). 学校組織の個業化が教育活動に及ぼす影響とその変革方略に関する実証的研究—個業化, 協働化, 統制化の比較を通して— 鳴門教育大学研究紀要, 21, 41-54.
- Shahid, S., Din, M. (2021). Fostering Psychological Safty in Teachers: The Role of School Leadership, Team Effectiveness & Organizational Culture *International Journal of Educational Leadership and Management* 9(2), 122-149.

- 澤田 忠幸(2020). 小中学校女性教員の職業・勤務校へのコミットメントと主観的幸福感との関連 石川県立大学研究紀要, 3, 99-107.
- Kim, S., Lee, H.& Timothy, P. C.(2020). How Psychological Safty Affects Team Performance: Meddiating Role of Efficacy and Learning Behavior. *Frontiers in Psychology* 11, 1-15.
- 土屋 佑介(2021). 職業的アイデンティティ・ワークのスコーピングレビューー文化心理学の視点からー 大阪産業大学経営論集, 22(3) 47-62
- 植木 尚子・藤崎 眞知代(1999) 教師効力感を規定する要因―校種と経験年数を中心として―群馬大学教育学部紀要, 人文・社会科学編 48, 361-381.
- 占部 郁美・海道 進(編)(1988). 経営学大辞典 中央経済社
- 宇都 慎一郎・今林 俊一(2008). 初任教員の心理的発達に関する研究(4) 鹿児島大学教育学部研究紀要, 教育科学編 59, 77-101.
- 八尋 風太・杉山 佳生・久保 昂大・當山 貴弘・萩原 悟一(2021). 運動部活動顧問教員アイデンティティ尺度の作成―基本的属性による比較検討― スポーツ産業研究, 31(3), 327-339.
- 八尋 風太・萩原 悟一(2021). 運動部活動顧問のアイデンティティと抑うつとの関連性 運動とスポーツの科学 27(1), 47-53.
- 山口 豊一・長谷川 恵(2016). 小学校のチーム援助体制が共同体感覚及び教師のメンタルヘルスに及ぼす影響 *Japanese Journal of Applied Psychology*, 41(3), 281-289.
- 山口 豊一・山本 麻衣子・渡利 唯・井上 朋美(2014). 中学校におけるチーム援助の実態が教員のチーム援助志向性およびバーンアウトに与える影響 心理臨床研究, 32(1), 119-124.
- 山田 哲也・長谷川 裕(2010). 教員文化とその変容 教育心理学研究, 86, 39-58.
- 油布 佐和子(1988). 教員文化に関する実証的研究 久富 善之著『教員文化の社会学研究』多賀出版
- Watanabe K, Imamura K, Inoue, A, Otsuka Y, Shimazu A, Eguchi H, Adachi H, Sakuraya A, Kobayashi Y, Arima, H, Kawakami N.(2020). Measureing eudemonic well-being at work: avalidation study for the 24-item the University of Tokyo Occupational Mental Health(TOMH)well-being scale among Japanese workers. *Ind Health*, 58, 107-131.
- Yeigh, T. Willis, R. James, S Lake, W. Lynch, D. Peddell, L. Knight, B. Lee, M. & Samojlowicz, D(2023). Teacher of mathematics identity as a predictor of teacher wellbeing *The Australian Educational Researcher* 50, 1403-1420.